



碧南ロータリークラブ週報

第2989回例会 令和3年9月8日(水)

- 会長 新美 雅浩
- 幹事 栗津 康之
- 会場監督(SAA) 岡本 耕也

2021-2022 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内
TEL<0566>41-1100
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 例会場 碧南商工会議所ホール
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
FAX<0566>48-1100



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

- 会報委員 石川鋼勇・鈴木 洋・藤関孝典・小林 尚

●本日のお弁当

大正館

会 長 挨 拶

皆さん、こんにちは。先週から緊急事態宣言下ということで、Web を通じた例会が始まっております。発信するこちら側は本当に数名の方々に設営をしていただいております、非常に寂しい気持ちでいっぱいでございます。



新美雅浩会長

先日、季節の節目の話をしましたがけれども、昨日からは「白露」になりまして、大気が冷えて露ができ始める頃という季節を迎えております。それなりに涼しくなりまして、小さな秋を迎えている今日この頃ではないかなと思います。

一方で県内のコロナ感染がなかなか収まらなくて、恐らく明日ぐらいに緊急事態宣言が延長される可能性が高いということでございます。今しばらく我慢の毎日が続きますけれども、どうぞご自愛いただきたいと思っております。

さて、本日は来週にガバナー補佐訪問を迎えるということで、また硬い話になりますけれども、我々のクラブと RI との関係の話をしたいなあというふうに思います。クラブの会員同士は、表面上は皆平等だということでございます。平等で多様な人間が集められたクラブということなんですけれども、我々と RI との関係も基本的には全く同じでありまして、RI が我々のような各地域のロータリークラブに対して指示を出したり、強要したりする関係では全くないということをまずは申し上げたいというふうに思っております。当然のことですが、地区との関係もそういったものであるというふうに認識しております。つまり、我々は地域に根差したロータリークラブとして、独立した 1 団体ということが基本でございます。何でこのような関係になっているかということなんですけれども、これはロータリークラブというものがアメリカから始まったということが経緯というふうに言われております。アメリカの国家組織と似たようなものがロータリー情報には書かれているんですけども、アメリカ

は今 50 の州から成り立っております、基本的にはそれぞれの州がそれぞれの自治権を持っております。州のなすべきことと連合のなすべきことがきちっと分かれておりまして、対等な立場に立って役割分担をしております。ロータリークラブも同様にそれぞれのクラブが独立性を失わないように RI との関係が対等になっているということが経緯としてあるんじゃないかなあというふうに言われております。

そんな中で RI が何をやるのかということなんですけれども、それをはっきりさせた歴史的な文書が残っております。それが 1923 年にセントルイス国際大会で決議された「決議 23-34」でございます。先日の新入会員のセミナーでも私の方から少し触れさせていただきましたけれども、いわゆるロータリークラブの社会奉仕活動の在り方を初めて明文化して記録した文書として、世界中に形として残っているということでございます。その中に RI が持つべき役割というのが 3 つ示されておまして、

1. ロータリーの奉仕の理念の擁護、育成および全世界への普及。
2. ロータリークラブの設立、激励、援助および運営の管理。
3. 世界の情報交換所として、各クラブの問題を研究し、有益な助言を与えることによって各クラブの運営方法の標準化を図ること。

でございます。クラブの標準定款を見直すという目的で規定審議会が 3 年に 1 度行われます。ここ十数年クラブや組織の在り方、運営方法に色々と手を加えてきまして、ロータリーの柔軟な考え方が色々と訂正されてきたということでございます。それを RI がやってきたということですね。ただ、クラブの標準定款の見直し自体が RI の押し付けのような形でされるようなものではなくて、不易流行の精神を持って、自治権を有する我々のクラブが我々なりに考えて咀嚼をして、矛盾がないように運営を行っていくということが今のクラブの在り方でございます。そのクラブの在り方を規定したものがクラブ細則というものでございますので、クラブ細則をよく見ていただくと、我々なりの規定を作って運営をしているということになっております。RI が押し付けのような行為をすれば、クラブの自治権の侵害になる可能性もございまして、色々な弊害や軋轢が生じてくるということを改めてお伝え致しまして、本日の会長挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願い致します。

幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ 第 3 回理事会報告につきましては、幹事報告書の通りでございます。
- ・ 過日、役員・理事・各委員長の方へご案内しておりました 9 月 15 日（水）のガバナー補佐訪問例会後のクラブ協議会ということになっておりましたけれども、このような状況及び、伊藤ガバナー補佐から色々ご指導をいただきまして、例会時間内に行うことを決定致しました。その折にコロナゼロ・カーボンゼロというバッジをご着用いただきますよう、よろ



栗津康之幹事

しくお願い致します。

委員会報告

<ニコボックス>

- 清澤 聡之君 先週例会におきまして、スカウト育成連絡協議会に助成賜わり、ありがとうございました。
- 大竹 密貴君 本日、卓話をさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。
- 杉浦 秀延君 母校、愛知県立碧南工科高校ヨット部全国総体（インターハイ）に出場、男子420クラス4位、学校別総合で3位（銅メダル）を獲得。21年ぶりの快挙達成しました。生徒さんの頑張りに感謝です。

卓話

「真言僧となるために～高野山・信貴山での修行生活～」 会員 大竹密貴君

只今ご紹介に与りました大竹密貴でございます。本日は、私の修業時代のお話をさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

私は、真言宗の僧侶になるために高野山・大本山宝寿院の中にある「高野山専修学院」で修業しました。ここで、昭和63年4月から平成元年3月までの1年間修行をしました。男子のみの全寮制で、同期は76名。厳しい寮監4名の指導のもと、修行に励みました。修行中は、肉や魚類などは当然食べることができません。もちろんお酒もダメ。週刊誌、小説など仏教書以外の書物や不精進物の持ち込みは禁止、時間厳守など多くの規則や制約があり、それらは厳格に守らなければなりません。ここではお経の読み方をはじめ、密教概要、密教史なども勉強しました。9月から「四度加行」という厳しい修行に入りました。毎日2～3時間の行法を1日3回、約100日間続けました。精神的にも肉体的にも、とてもつらかったです。冬の高野山は、日中でも氷点下。とても厳しい環境でもありました。加行終了後は様々な修法を伝授していただき、無事に専修学院を卒業することができました。

平成元年4月1日より、自坊の本山である「信貴山 総本山朝護孫子寺 大本山玉蔵院」に執事として勤め、勉強させていた



大竹密貴君



高野山専修学院



四度加行

だきました。信貴山は、聖徳太子様によって開かれた日本最初の毘沙門天ご出現霊場。毎日多くの参拝者がありました。玉蔵院は宿坊寺院なので、参拝者の皆さんのお食事や宿泊のお世話もしました。春・秋の団参シーズンや行事のある時は、毎日のように昼も夜も200～300名程の参拝客がありました。とにかくお参りの方が多くて朝から夜までとても忙しかったです。信貴山で僧侶としての重要な仕事は、大般若祈祷でした。最初は下座。1年後には、管長様のご登壇されないときは導師を務めさせていただくこともできるようになりました。玉蔵院では、毎月のように各種法要・行事がありましたが、主にマネジメントの仕事をさせていただきましたので、そのことが自坊に帰ってから大いに役に立っています。私の玉蔵院で一番重要な仕事は、管長様の随行でした。山内はもとより、他本山や縁故寺院の法要、各地でのご法話、講演会などへのお出かけの折にも管長様のお供をさせていただきました。おかげで苦勞も多かったですが、いろいろな経験や多くのことを勉強させていただくことができました。



大本山 信貴山玉蔵院

いろいろ振り返ってみますと、縁あってお寺に生まれて僧侶となり現在は父の跡を継いで住職をしておりますが、ありがたいと思うことがたくさんあって僧侶になって本当によかったと心から思います。

ご清聴、誠にありがとうございました。

次回例会案内

令和3年9月22日（水） 定款第7条第1節（d）（1）による休会

令和3年9月29日（水） ガバナー公式訪問（高浜RC合同）

第2760地区 ガバナー 沓名俊裕様

〃 地区幹事 細井英治様

〃 地区事務長 本間育子様